

第7章 計画の推進体制・進行管理

7.1. 推進体制

本計画の推進にあたっては、市民・事業者・市の各主体が当事者意識を持ち、目標の達成に向けて取り組んでいくことが重要であることから、各主体がその役割に応じた取組を進め、三者が連携・協働することで効果的かつ着実に計画を推進していきます。

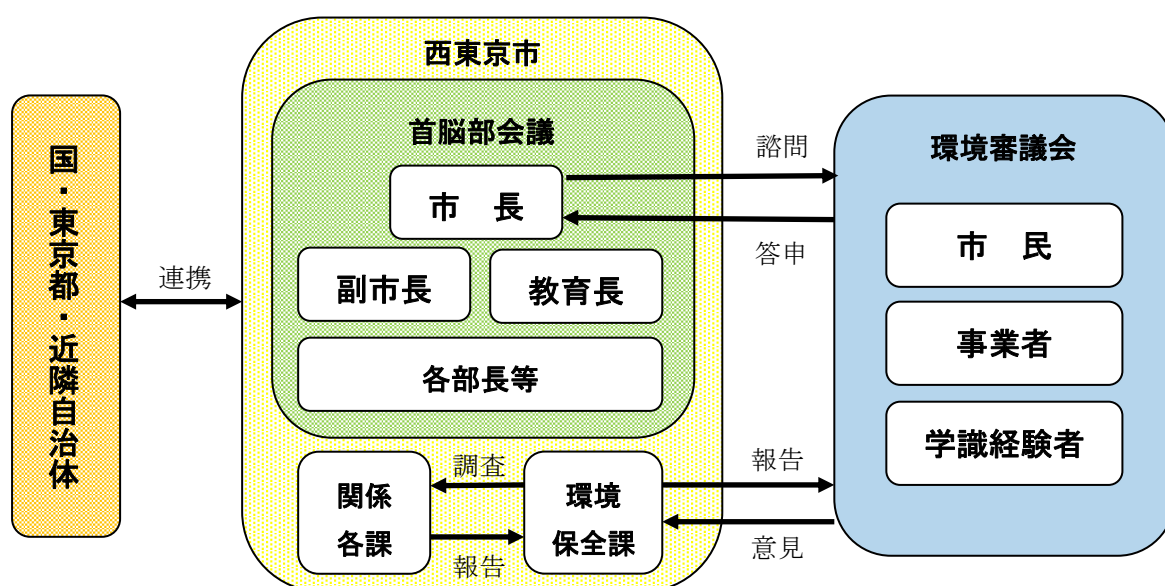
環境問題の中には本市だけで対応ができないものもあるため、必要に応じて東京都や近隣自治体と連携した取組を進めるとともに、本計画の推進と進行管理については、次の組織を中心に行います。

【環境審議会】

- 西東京市環境基本条例に基づく市長の附属機関で、市民・事業者・学識経験者により構成されます。
- 環境基本計画の策定及び変更や市の環境施策の進捗状況について、市長からの諮問に応じ、調査・審議を行い答申します。
- 本計画の施策及び重点プロジェクトの実施状況について、環境保全課からの報告を受け、意見を述べます。

【庁内組織】

- 本計画の施策及び重点プロジェクトを関係各課において推進します。
- 本計画の進捗状況について、環境保全課が調査・点検を行い、環境審議会に対し報告を行います。
- 環境審議会からの答申及び意見について、市長主宰のもと副市長、教育長、部長等で構成される首脳部会議において協議、報告を行います。



7.2. 進行管理の手法

(1) PDCA サイクルによる進行管理

本計画の施策を着実に進めるためには、進捗状況の定期的な点検・評価を行い、必要に応じて見直す適切な進行管理が重要です。

計画の進行管理は、「計画（Plan）」「実行（Do）」「点検・評価（Check）」「見直し（Act）」のPDCAサイクルを基本として、取組の実効性を確保します。

■計画（Plan）

本計画は、2次計画の策定から5年が経過したことから中間見直しを行い、後期計画として策定したものです。5年後を目途に全面的な見直しを行い、第3次西東京市環境基本計画の策定を目指します。

■実行（Do）

本計画に基づき、各主体が具体的な取組を実行します。

■点検・評価（Check）

毎年、重点プロジェクト及び主な計画関連事業の進捗状況や環境指標の最新数値を把握し、計画の達成状況を評価します。

■見直し（Act）

評価結果に基づき、施策や取組内容を見直し、次年度以降へ反映させていきます。

(2) 指標・目標の活用

本計画に基づく取組状況や環境指標に対する目標の達成状況を把握します。また、その結果をもとに点検・評価を行い、将来像の実現に向けた取組に反映させていきます。

(3) 進捗状況の把握や点検・評価及び公表

「西東京市環境年次報告書（環境白書）環境活動レポート」により西東京市の環境の状況や施策・事業の取組状況、今後の取組方針等の点検・評価結果を公表します。